

## 再 評 価 調 書 (案)

I 事業概要					
事業名	交通安全施設等整備事業（自転車歩行者道設置工事）				
地区名	主要地方道 知多東浦線				
事業箇所	知多市八幡地内				
事業のあらまし	<p>当該路線は知多半島西側の知多市と東側の東浦町を結ぶ東西方向の主要幹線道路です。また、本区間は知多市内を南北に流れる二級河川信濃川の西側地区と東側地区を結ぶ重要な道路で周辺に名鉄寺本駅、八幡小学校、八幡中学校、知多翔洋高校等が立地し、通勤通学の歩行者及び自転車利用の多い地域です。</p> <p>当該箇所は歩道が未整備であるため、歩行者、自転車が車道部を通行し非常に危険な状態です。このため、歩行者及び自転車の安全確保を主な目的として自転車歩行者道整備を進めています。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>&lt;交通安全対策の推進&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○危険通学路の解消</li> <li>○歩行者・自転車の安全性の確保</li> <li>○バリアフリー化の推進</li> </ul> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>				
計画変更の推移		事前評価時	再評価時	変動要因の分析	
	事業期間	平成 17～23 年度	平成 17～32 年度	用地取得難航による事業期間の延伸	
	事業費（億円）	12.00	12.00	—	
	経費内訳	工事費	4.70	4.70	変動なし
		用補費	6.62	6.62	変動なし
その他		0.68	0.68	変動なし	
事業内容	自転車歩行者道設置（交差点改良3箇所を含む） L=1.67km	自転車歩行者道設置（交差点改良3箇所を含む） L=1.67km	変動なし		
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現道は部分的に小学校や中学校の通学路に指定されているほか、高校生の自転車通学経路としても利用されており、歩道が整備されていないこと、また自動車交通量が約 10,000 台/日程度と多いことから、通学する児童・生徒の安全が脅かされている状況にあります。また、寺本駅への主要アクセス路であり、周辺市街地からの通勤利用を中心とする自転車や歩行者の通行が多い区間ですが、歩道が整備されていない区間があり、危険な状況にあります。</li> </ul> <p>【再評価時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区間において、小学生 388 人、中学生 173 人が通学路として利用しています。</li> <li>・自動車交通量についても事前時とほぼ同様の約 11,000 台/日程度あります。</li> <li>・新たに事業区間の一部をバリアフリー化を重点的に整備する地区として位置づけられ、整備が完了しております。整備が完了した区間については、歩行者・自転車・自動車の通行空間分離され安全性確保に寄与していますが、未整備区間については依然として危険な状況にあります。</li> </ul> <p>【変動要因の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路などの周辺状況、交通状況に大きな変動はなく、歩行者・自転車の安全な通行の確保の必要性が確認されています。</li> <li>・平成 20 年に新たにバリアフリー化を重点的に整備する地区に位置づけられたことにより、事業の必要性は増大しています。</li> </ul>			
	判定	A	<p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。</p> <p>B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。</p> <p>C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p>		

		<p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに、バリアフリー化を重点的に整備する地区に位置づけられたため。</li> </ul>																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
②事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>H17</th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="9">工種区分</td> <td>(1工区)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>調査・設計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2工区)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>調査・設計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> </tr> <tr> <td>(3工区)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>調査・設計</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>計画</td> <td></td> <td>2.45</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4.58</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3.35</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.62</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td>2.45</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4.58</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業費について、過去については5ヵ年毎の計画と実績、今後5年間分の事業費と、それ以降の残事業費を記載する。</p> <p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画【①】</th> <th>実績【②】</th> <th>達成率(%)【②÷①】</th> <th>計画【③】</th> <th>進捗率(%)【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>1.67</td> <td>0.6</td> <td>34.7%</td> <td>1.67</td> <td>34.7%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>12.0</td> <td>7.0</td> <td>58.6%</td> <td>12.0</td> <td>58.6%</td> </tr> <tr> <td>  工事費</td> <td>4.7</td> <td>1.5</td> <td>32.6%</td> <td>4.7</td> <td>32.6%</td> </tr> <tr> <td>  用補費</td> <td>6.6</td> <td>5.0</td> <td>75.1%</td> <td>6.6</td> <td>75.1%</td> </tr> <tr> <td>  その他</td> <td>0.7</td> <td>0.5</td> <td>77.9%</td> <td>0.7</td> <td>77.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【施工済みの内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成21年に事業区間内の一部区間L=0.5km(3工区)を供用しております。</li> </ul> <p>【事後評価に準ずるフォローアップ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・供用済箇所について、歩行者・自転車・自動車の通行空間が分離され通学路の安全性確保に寄与しています。</li> <li>・バリアフリー化された整備が進められ、駅利用者のアクセス性向上に寄与しております。</li> </ul>			H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	工種区分	(1工区)																	調査・設計				←	←	←	←	←	←	←							用地補償				←	←	←	←	←	←	←							工事						←	←	←	←	←							(2工区)																	調査・設計											←	←	←	←	←	←	用地補償											←	←	←	←	←	←	工事												←	←	←	←	←	(3工区)																	調査・設計	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	用地補償	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	工事				←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	事業費(億円)	計画		2.45				4.58				3.35				1.62				実績		2.45				4.58												これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】	延長(km)	1.67	0.6	34.7%	1.67	34.7%	事業費(億円)	12.0	7.0	58.6%	12.0	58.6%	工事費	4.7	1.5	32.6%	4.7	32.6%	用補費	6.6	5.0	75.1%	6.6	75.1%	その他	0.7	0.5	77.9%	0.7	77.9%
			H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	工種区分	(1工区)																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		調査・設計				←	←	←	←	←	←	←																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		用地補償				←	←	←	←	←	←	←																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		工事						←	←	←	←	←																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		(2工区)																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		調査・設計											←	←	←	←	←	←																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		用地補償											←	←	←	←	←	←																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		工事												←	←	←	←	←																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(3工区)																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
調査・設計	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←																																																																																																																																																																																																																																																																																														
用地補償	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←																																																																																																																																																																																																																																																																																														
工事				←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←																																																																																																																																																																																																																																																																																														
事業費(億円)	計画		2.45				4.58				3.35				1.62																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	実績		2.45				4.58																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
延長(km)	1.67	0.6	34.7%	1.67	34.7%																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
事業費(億円)	12.0	7.0	58.6%	12.0	58.6%																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
工事費	4.7	1.5	32.6%	4.7	32.6%																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
用補費	6.6	5.0	75.1%	6.6	75.1%																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
その他	0.7	0.5	77.9%	0.7	77.9%																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
2) 未着手又は長期化の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補償内容や代替地の選定などの用地交渉に時間を要したため、事業が長期化しております。</li> </ul>																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2工区の用地取得については、地元及び知多市から歩道設置の強い要望があり、地元の合意形成が図られる環境にあることから、それほどの阻害要因にならないと考えます。</li> </ul> <p>【今後の見込み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1工区の買収状況は面積ベースで68.6%です。平成30年度を目標に鋭意買収を進め、平成32年度の事業完了を目指しております。</li> </ul>																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
判定	<p><b>B</b></p> <p>A：事業は順調であり、計画通り確実な完成が見込まれる。  B：多少の阻害要因があるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。  C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p> <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2工区の用地取得については地元の強い要望もあり、それほどの阻害要因にならないと考えられ、引き続き用地交渉を進めることにより平成32年度の事業完了が見込まれるため。</li> </ul>																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
③事業の効果の変化	<p>1) 貨幣価値化可能な効果(費用対効果分析結果)の変化</p> <p>【貨幣価値化可能な効果(費用対効果)分析の算定基礎となった要因変化の有無】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業は、局所的な交通安全施設等整備事業であり、交通量推計条件に変化の考慮が困難な事業のため、算定不可とします。</li> </ul> <p>【貨幣価値化可能な効果(費用対効果)分析手法】</p> <p>—</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																													

2) 貨幣価値化困難な効果の変化

- ・ 価値化困難な効果としては、「事故多発箇所での事故数削減」、「交通弱者に対する安全性向上」、「自動車交通の多い区間における歩行者の安全性向上」があります。
- ・ また、「貨幣価値化困難な効果 評価基準表」に基づき評価した評価値は事前評価時及び再評価時ともに、0.67となっています。

【事前評価時の状況】

達成目標 (建設部方針)		評価対象 の判断	貨幣価値化可能な効果 評価基準表			
			評価項目	基礎点	得点	
1 安心・安全	①交通安全対策の推進		■ a) 事故多発箇所での事故数削減に寄与する	MAX3	1	
			<input type="checkbox"/> 事故危険箇所、緊急事故多発交差点、レッドゾーン区間(死傷事故率が500件/億台キロ以上の区間)、あんしん歩行エリアなど、交通事故の危険性が非常に高い箇所を含む区間における交通安全対策事業に該当する	3		
			<input type="checkbox"/> 死傷事故率が200~500件/億台キロの区間(イエローゾーン区間)など、交通事故の危険性が高い区間における交通安全対策事業に該当する	2		
			■ 死傷事故率が200億台キロ未満の区間における交通安全性の向上に資する事業に該当する	1		
			■ b) 交通弱者に対する安全性向上が期待できる	MAX3		3
			■ 通学路の安全性向上に資する事業又は交通バリアフリー法における特定道路または重点整備地区における事業に該当する	3		
			<input type="checkbox"/> 沿線又は周辺に学校、病院、福祉施設、その他公共・公益施設等が位置する区間における交通安全対策事業に該当する	2		
			<input type="checkbox"/> その他交通弱者に対する交通安全性向上が期待できる事業に該当する	1		
			■ c) 自動車交通量の多い区間における歩行者の安全性の向上が期待される	MAX3		2
			<input type="checkbox"/> 計画交通量20,000台/日以上上の3種道路、または計画交通量10,000台/日の4種道路の歩道等の新設・拡幅に該当する。	3		
■ 計画交通量4,000~20,000台/日の3種道路、または計画交通量4,000~10,000台/日の4種道路の歩道等の新設・拡幅に該当する。	2					
<input type="checkbox"/> 計画交通量4,000台/日未満で歩行者利用のある道路における歩道の新設・拡幅に該当する。	1					
合計			9	6		
総合計			9	6		
評価値			0.67			

【再評価時の状況】

達成目標 (建設部方針)		評価対象 の判断	貨幣価値化可能な効果 評価基準表			
			評価項目	基礎点	得点	
1 安心・安全	①交通安全対策の推進		■ a) 事故多発箇所での事故数削減に寄与する	MAX3	1	
			<input type="checkbox"/> 事故危険箇所、緊急事故多発交差点、レッドゾーン区間(死傷事故率が500件/億台キロ以上の区間)、あんしん歩行エリアなど、交通事故の危険性が非常に高い箇所を含む区間における交通安全対策事業に該当する	3		
			<input type="checkbox"/> 死傷事故率が200~500件/億台キロの区間(イエローゾーン区間)など、交通事故の危険性が高い区間における交通安全対策事業に該当する	2		
			■ 死傷事故率が200億台キロ未満の区間における交通安全性の向上に資する事業に該当する	1		
			■ b) 交通弱者に対する安全性向上が期待できる	MAX3		3
			■ 通学路の安全性向上に資する事業又は交通バリアフリー法における特定道路または重点整備地区における事業に該当する	3		
			<input type="checkbox"/> 沿線又は周辺に学校、病院、福祉施設、その他公共・公益施設等が位置する区間における交通安全対策事業に該当する	2		
			<input type="checkbox"/> その他交通弱者に対する交通安全性向上が期待できる事業に該当する	1		
			■ c) 自動車交通量の多い区間における歩行者の安全性の向上が期待される	MAX3		2
			<input type="checkbox"/> 計画交通量20,000台/日以上上の3種道路、または計画交通量10,000台/日の4種道路の歩道等の新設・拡幅に該当する。	3		
■ 計画交通量4,000~20,000台/日の3種道路、または計画交通量4,000~10,000台/日の4種道路の歩道等の新設・拡幅に該当する。	2					
<input type="checkbox"/> 計画交通量4,000台/日未満で歩行者利用のある道路における歩道の新設・拡幅に該当する。	1					
合計			9	6		
総合計			9	6		
評価値			0.67			

※道路・街路事業の事業評価マニュアル(平成25年3月 愛知県建設部都市整備課・道路維持課・道路建設課)による。

		<p>【変動要因の分析】</p> <p>「交通弱者に対する安全性向上」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前評価時：小中学校の通学路が含まれており、得点は「3」</li> <li>・再評価時：小中学校の通学路が含まれているとともに、バリアフリー化を重点的に整備する地区に位置づけているが評価は変わらず、得点は「3」</li> </ul> <p>「自動車交通量の多い区間における歩行者の安全性の向上」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前評価時：本事業区間は3種または4種道路で自動車交通量は約10,000台/日程度であり、得点は「2」</li> <li>・再評価時：本事業区間は3種または4種道路で自動車交通量は約11,000台/日程度であり、得点は「2」</li> </ul>				
	<p>判定</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="359 544 513 741"> <p>A</p> </td> <td data-bbox="513 544 1457 741"> <p>A：事業着手時とほぼ同様の事業効果が発現される見通しがある。            B：事業着手時と比べ低下が見られるが、十分な事業効果が確保される見通しがある。            C：事業着手時と比べ著しく低下し、現時点では事業効果が確保される見通しが立たない。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="359 741 1457 862"> <p>【理由】</p> <p>貨幣価値化困難な効果について、事前評価時、再評価時ともに基準値が基準の0.6を超えており、事業着手時とほぼ同様の効果が見込まれるため。</p> </td> </tr> </table>	<p>A</p>	<p>A：事業着手時とほぼ同様の事業効果が発現される見通しがある。            B：事業着手時と比べ低下が見られるが、十分な事業効果が確保される見通しがある。            C：事業着手時と比べ著しく低下し、現時点では事業効果が確保される見通しが立たない。</p>	<p>【理由】</p> <p>貨幣価値化困難な効果について、事前評価時、再評価時ともに基準値が基準の0.6を超えており、事業着手時とほぼ同様の効果が見込まれるため。</p>	
<p>A</p>	<p>A：事業着手時とほぼ同様の事業効果が発現される見通しがある。            B：事業着手時と比べ低下が見られるが、十分な事業効果が確保される見通しがある。            C：事業着手時と比べ著しく低下し、現時点では事業効果が確保される見通しが立たない。</p>					
<p>【理由】</p> <p>貨幣価値化困難な効果について、事前評価時、再評価時ともに基準値が基準の0.6を超えており、事業着手時とほぼ同様の効果が見込まれるため。</p>						
<p>III 対応方針（案）</p>						
<p>継続</p>	<p>中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。          継続：上記以外のもの。</p>					
<p>IV 事後評価実施の有無と主な評価内容</p>						
<p>■対象（事業完了後 年目） □対象外</p> <p>【事業完了後5年を超えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <p>○危険通学路の解消状況</p> <p>○事業区間における自転車及び歩行者の通行に係る安全性の改善状況</p>						
<p>V 事業評価監視委員会の意見</p>						
<p> </p>						
<p>VI 対応方針</p>						
<p> </p>						